

天龍村議会だより

第11号

発行日:
2025年10月23日

みなさん、こんにちは。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
日中と夜との寒暖差が大きいので身体に気をつけてください。



↑国土交通省 道路局長に要望書を直接手渡し。

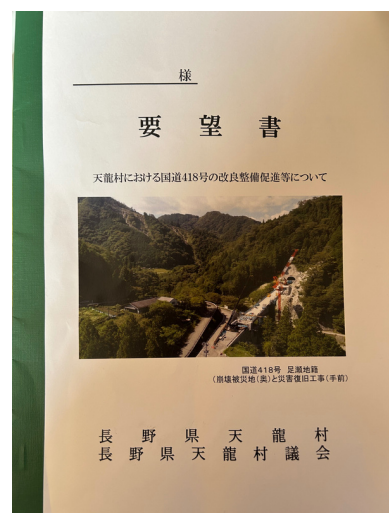
9月30日、10月1日 「国道418号の改良整備促進について」天龍村単独で要望活動を行いました。
関東地方整備局、国土交通省、財務省を訪問して、足瀬地籍災害早期復旧、新野くおきよめの湯間の拡幅改良整備の促進を主眼に永嶺村長が映像資料なども使用し、中身の濃い立体的な要望になりました。

国への要望活動

何といっても予算が不可欠。→
財務省主計局を訪れ、国土交通
統括担当主計官山川清徳主計官と
面談。
厳しい表情の山川氏も硬軟取り混
ぜた永嶺村長のプレゼンと議員団
の圧力？が功を奏したのか、最後
には笑顔が見られました。



↑議会館の宮下一郎議員を
訪問し、今回の要望内容を改めて説明。
何度も天龍村を訪れていることもあり、必要性を
実感されている様子でした。



↑天龍村足瀬地籍早期復旧を訴えた要望書

第3回議会定例会

9月4日～11日定例議会が行われ、下記の案件について審議しました。

項目	件名
同意 5	天龍村教育委員会委員の任命について
承認 7	令和7年度天龍村一般会計補正予算（第3号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて
議案 48	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
議案 49	令和7年度過疎対策事業「なんでも館空調設備更新工事」請負契約について
議案 50	令和7年度天龍村一般会計補正予算（第4号）について
議案 51	令和7年度天龍村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案 52	令和7年度天龍村介護保険特別会計補正予算（第1号）について
議案 53	令和7年度天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について
議案 54	令和7年度天龍村営水道事業会計補正予算（第2号）について
議案 55	令和7年度天龍村営下水道事業会計補正予算（第2号）について
認定 1	令和6年度天龍村一般会計歳入歳出決算認定について
認定 2	令和6年度天龍村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定 3	令和6年度天龍村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定 4	令和6年度天龍村後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定 5	令和6年度天龍村国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について
認定 6	令和6年度天龍村営水道事業会計歳入歳出決算認定について
認定 7	令和6年度天龍村営下水道事業会計歳入歳出決算認定について
報告 6	令和6年度天龍村財政健全化判断比率等の報告について

一般質問

9月11日の第3回議会定例会で一般質問を行った
3人の質問内容を紹介します。

集落支援員制度の活動と今後の方向性について

熊谷美沙子議員



全国各地で大きな課題として取り上げられている「人口減少問題」

天龍村も点在している集落の維持について、軒数の減少や高齢化、独居世帯の増加等による影響が目に見えて顕著に進んでいる。

(1) 現在当村では専任の集落支援員制度を取り入れ「集落見守り支援」と「買物支援」を中心に活動しているが、それぞれの現在の活動内容と実績、地区毎の支援内容について、また現在の活動における課題等あれば伺いたい。

買物支援について、今後支援対象世帯や支援対象者が減少する事も考えられる中で、どのような方向性での継続を考えているか。今後、支援内容（活動内容）を増やす計画は？また専任の支援員を増やす予定はあるか。

(2) 集落を維持する上で、道掃除や草刈り、河川管理等の作業が困難になっている地区が増えている。以前、兼任支援員の導入についての質問に対し、支援員がいる地区とない地区があると公平ではないとの答弁があったが、

地区有志の善意やボランティアに頼るばかりでは、物価高や燃料費高騰の現在では労力も含め村民の皆さまのご負担が大きくなる。村内の労働力を譲り合って地区や集落を維持していくという考え方で、仕事の傍ら月3日ほど時間を確保していただける方に兼任の集落支援員制度を活用できれば収入にも繋がる。

役場職員や村財政への負担等、この先考えられる様々な課題を勘案し、改めて前向きにご検討いただきたい。

1. 村道整備について

後藤知久議員



村内道路の整備にあたっては各地区の要望を基に、箇所ごとの緊急性や必要性等を総合的に判断し取り組んでいただいております。村の令和7年度から令和9年度の実施計画に計上されている路線の工事を中心に、以下の点について伺います。

(1) 村道仮称新平神線（中井侍地区）

実施期間は2022年度からの道路新設工事で本年度で4年目となりますが、開設された延長は予定通りでしょうか。

計画では2023年に100m、2024年に200mとなっていると思います。

遅れている場合、緊急性をもって計画された工事であり地域住民も早い開通を願っていると思いますので、早期に計画の見直しを行う必要があるのではないのでしょうか。

(2) 村道紙屋線（西原地区）

実施期間は2026年度となっていますが、昨年度村営住宅の解体工事が実施され、今年度宅地の造成工事が計画されています。造成地の現状の道路は西原上線への通行のみとなっています。

造成工事には建設機械や運搬車両としてダンプ等が多く通行することから、近くの公共施設等へ通行する車両も多く、地域住民の通行の妨げとなることも予想されます。

そのため紙屋線の改良工事を前倒しで実施し、西原下線への通行を可能にして車両の優先道路として利用するのが望ましいのではないかと思います。

(3) 遠山川に架かる吊り橋について

2箇所の吊り橋が設置されていますが、どちらも2～4年ほど前から通行不能となっています。

以前、担当課に質問をしてありますが、観光面や歴史的な面等も含めて通行できるようにしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

2. 観光事業の推進について

後藤知久議員

村内の観光振興は村の存続の一つの手段であります。

地域資源を活かして交流人口を増やそうとする取り組みは、村を中心に地域・個人的な活動としても進めていただいています。

今後も観光事業に力を注ぐため、以下の点について伺います。

(1) 観光専任職員としての地域おこし協力隊員の採用について

観光事業の中心となる村の地域振興課では、観光・商工振興・農林業振興・移住定住など限られた職員数で業務にあたっています。そこで、観光事業に特化して地域資源を活かすための職員として、地域おこし協力隊員の採用をしてはどうでしょうか。

(2) 観光ガイド人材の確保と育成について

リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通により、飯田線や自動車を利用した観光客への取組みが今後大きな観光事業になってくると考えられます。

村内の歴史や文化、芸能、自然などを来村者に伝えるガイド役の人材確保は重要です。

先に述べた地域おこし協力隊員に観光協会等を中心に活動してもらい、村の観光ガイド役の方々と連携して、その伝承者の育成や村外への情報発信により交流人口増加に繋げていくのが一つの方策と考えますが、いかがでしょうか。

3. 蛍光灯ランプの製造中止に係る村民周知について

2027年末にすべての一般照明用蛍光灯ランプの製造および輸出入が中止となります。

照明工業会のインターネット調査では「知らない」と回答した方が多かったようです。

使用ができないわけではないので、在庫を持つことも一つの方法ですが、エネルギー効率の高く寿命の長いLED照明への交換が推奨されています。次の点について伺います。

1. 製造中止までのスケジュールや各家庭での対応について、村民への周知計画はありますか。あるとすればいつ頃ですか。
2. 現在使用している蛍光灯器具をそのままLED照明に交換することは推奨されていません。器具からの交換となるため、高齢者世帯には対応についての案内が必要と思われるのですが、いかがでしょうか。
3. 地区の公共施設・集会所などでまだLED化されていない箇所の対応については、どのような扱いになりますか。

福祉の理念に立ち返った 高齢者・子ども施策と制度の一元化について

今村久雄議員



「お年寄りにやさしい村」を謳う本村。そもそも福祉の理念は、人がその人らしく生きることを支える、人間の尊厳の保持にあります。平成12年（2000年）に措置制度から介護保険制度へと移行し、与える福祉から利用者が事業者を選択する仕組みに変わった事は大きな前進でした。それでもなお、介護施設は外部から隔絶されやすく、閉鎖的な環境となる傾向があります。生活の場であるはずの施設が、地域や家族、社会から切り離されてしまえば、本人らしい暮らしは実現できません。こうした現状を踏まえるとき、「お年寄りに優しい村」を掲げる本村として、福祉の理念に立ち返り、地域に開かれた支援のあり方をどう実現していくのか、いま改めて問われているのではないのでしょうか。

高齢者の福祉は最重要課題である一方、次の時代を担う子どもたちの教育・福祉も忘れてはなりません。こうした状況を踏まえ、制度を系統立てて整理し、一元的で実効性のある仕組みを整える必要があります。村の考えを伺います。

1. 高齢者福祉について 高齢化率が60%を超えるいま、この理念をどのように具体的に実現していくのか、村としての認識を伺います。また、今後さらに高齢化が進むことを見据え、介護や医療、生活支援をどのように強化していくお考えをお聞きします。

2. 子どもの教育・福祉について

一方、次の時代を担う子どもたちの教育や福祉も忘れてはならないと思います。少子化が進むなかで、子どもが安心して学び、育つための環境づくりを村はどのように考えているのか、お伺いします。

3. 制度の整理と一元化について

高齢者福祉や子ども福祉は、複数の制度にまたがり、住民には分かりにくいという課題があります。これを整理し、一元的に相談や利用ができる仕組みを整えるお考えはあるかを伺います。

また、そうした取り組みによって、住民にどのような効果が期待できるのか、あわせてお聞きします。

天龍村議員 活動報告

(期間：令和7年 7月～9月)
黒字：議長 赤字：複数又は全員出席

7月

1日(火) 議会運営委員会 正副議長室

2日(水) 国道151期成同盟会総会 下條村コスモホール



11日(金) 県南部国道連絡会 木曽福島

14日(月) 地滑り対策事業 起工式 中井侍集会所



町村議会議員研修会

17日(木) 議会あり方検討会 役場3階



22日(火) 天龍村介護保険懇話会 老人福祉センター

23日(水) ヘリポート 村草刈り～職員交流、慰労暑気払い 役場地階

25日(金) 第6次天龍村総合計画に伴う基本計画の策定の専門部会スタート

29日(火) 愛知・長野県境域開発協議会 道路交通部会陳情 愛知県庁

30日(水) 旧天龍中学校施設の利活用検討委員会スタート

31日(木) 国道418整備促進期成同盟会 村老福センター

下伊那町村議会議長視察研修(リニア関連) 飯田市役所

東部軸道路整備促進期成同盟会総会 喬木村福祉センター



8月

- 1日(金) 議会運営委員会 正副議長室
- 4日(月) 南部5町村議会議員会総会 下條村コスモホール
- 15日(金) 20歳の集い なんでも館
- ふるさと夏祭り 特設会場
- 21日(木) 阿南高校シンポジウム 阿南町文化センター
- 22日(金) 広域臨時議会 全協 エスパード・下伊那町村議定会
- 25日(月) 根羽村議員（3名）視察研修来村、
議会あり方検討会 正副議長室
- 31日(日) 防災訓練 役場3階大会議室～訓練開始



9月

- 4日(木) 9月定例議会 初日
- 11日(木) 9月定例議会 最終日
- 29日(月) 表彰審査会
- 10月度議会運営委員会
- 30日(火) 国への要望活動（～10月1日）

あとがき

発行が2週間遅れてしまいました。私事です、9月の議会が終わった直後から遅れたコロナに罹患して、体調を崩してしまい、予定を守ることができませんでした。体調管理に気をつけて頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

さて、国政も多党化時代に入り、混沌とし始めました。これからは「任せる時代」から「自ら考え動く時代」に入ったとも言われています。そういえば最近、議会を傍聴する方が増えてきています。これは私達議員からすれば大変励みになります。「百聞は一見に・・・」是非、自分の目で見て感じてください。

天龍村の議会だからこそ、政治が思ったより身近だと感じられるはずですし、意外と眠くならないと思います。お気軽に足をお運びください。

そして、この議会だよりでは皆さんのお声をお待ちしております。

最後に、秋も深まりめっきり寒くなつて、寒さが身体に沁みる季節になってきました。皆様もお身体にはくれぐれもお気をつけください。

編集委員長（総務社会委員長）

今村久雄



次回議会予定は12月です。